

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理光学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学 期	前期	教室名	第2合同校舎702教室
担 当 教 員	高宮麻也子・昏石勝代 他				
実務経験とその関連資格	<p>【実務経験】 高宮麻也子:視能訓練士として総合病院、クリニックに勤務。光学的屈折矯正検査に従事。 昏石 勝代:視能訓練士として総合病院に勤務し、光学的屈折矯正検査に従事。</p> <p>【関連資格】 視能訓練士</p>				
《授業科目における学習内容》					
眼光学及びレンズ光学の概念を理解する。眼光学における図式の表記、計算ができる。フローチャートに沿って屈折検査などの光学的検査の手技を解説する。					
《成績評価の方法と基準》					
本試験 80% 小テスト 20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 生理光学ドリル基礎編 生理光学ドリルⅡ 滋慶教育科学研究所:滋慶出版 国家試験過去問⑧生理光学					
《授業外における学習方法》					
授業の予習、復習 小テストの勉強と見直し					
《履修に当たっての留意点》					
眼科における光学的知識は日常の眼科診療において必要不可欠なものです。基礎からしっかりと学び、理論を理解することで、生理光学実習における実技実習に役立ちます。生理光学と生理光学実習、理論と手技を繋げて学ぶことを期待します。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	光の性質を図と言葉で説明できる。	配布資料 教科書	授業の予習復習	
	各コマにおける授業予定	反射と屈折の法則・屈折率と屈折力			
第2回	授業を通じての到達目標	レンズの種類を説明できる。レンズ度数や焦点距離の計算ができる。	配布資料 教科書	授業の予習復習	
	各コマにおける授業予定	レンズの種類 レンズ度数と焦点距離			
第3回	授業を通じての到達目標	レンズメータの操作を理解する。結果を記載できる。	配布資料 教科書	授業の予習復習	
	各コマにおける授業予定	レンズメータの操作・結果の表記(単焦点眼鏡)			
第4回	授業を通じての到達目標	トーリックレンズを理解する。 眼光学における図式の表記、計算ができる。	配布資料 教科書	授業の予習復習	
	各コマにおける授業予定	スコア図 レンズ式			
第5回	授業を通じての到達目標	トーリックレンズを理解する。 眼光学における図式の表記、計算ができる。	配布資料 教科書	授業の予習復習	
	各コマにおける授業予定	スコア図 レンズ式			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	眼鏡の種類が説明できる。	配布資料 教科書	授業の予習復習
	各コマにおける授業予定	眼鏡について		
第7回	授業を通じての到達目標	累進屈折力眼鏡の度数を測定できる。	配布資料 教科書	授業の予習復習
	各コマにおける授業予定	レンズメータの操作・結果の表記(累進屈折力眼鏡)		
第8回	授業を通じての到達目標	収差の種類を説明できる。プリズムの概念を説明できる。	配布資料 教科書	授業の予習復習
	各コマにおける授業予定	収差・プリズム		
第9回	授業を通じての到達目標	総復習	配布資料 教科書	授業の予習復習
	各コマにおける授業予定	演習問題		
第10回	授業を通じての到達目標	屈折異常について理解し、図に描ける。	教科書	教科書の該当ページをよんでおくこと
	各コマにおける授業予定	正視とは・近視とは・遠視とは、遠点について		
第11回	授業を通じての到達目標	屈折異常について理解し、図に描ける。	教科書	教科書の該当ページをよんでおくこと
	各コマにおける授業予定	正視とは・近視とは・遠視とは、遠点について		
第12回	授業を通じての到達目標	屈折異常(乱視)について理解し、図に描ける。	教科書	教科書の該当ページをよんでおくこと
	各コマにおける授業予定	乱視とは、乱視の分類、スタームのコノイド		
第13回	授業を通じての到達目標	屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。	教科書 配布資料	教科書の該当ページをよんでおくこと
	各コマにおける授業予定	レンズ交換法、視力の表記		
第14回	授業を通じての到達目標	屈折異常(乱視)について理解し、図に描ける。	教科書	教科書の該当ページをよんでおくこと
	各コマにおける授業予定	乱視とは、乱視の分類、スタームのコノイド		
第15回	授業を通じての到達目標	屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。	教科書 配布資料	教科書の該当ページをよんでおくこと
	各コマにおける授業予定	レンズ交換法、視力の表記		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理光学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学 期	前期	教室名	第2合同校舎702教室
担 当 教 員	高宮麻也子・昏石勝代 他				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 高宮麻也子:視能訓練士として総合病院、クリニックに勤務。光学的屈折矯正検査に従事。 昏石 勝代:視能訓練士として総合病院に勤務し、光学的屈折矯正検査に従事。</p> <p>【関連資格】 視能訓練士</p>				
《授業科目における学習内容》					
眼光学及びレンズ光学の概念を理解する。眼光学における図式の表記、計算ができる。フローチャートに沿って屈折検査などの光学的検査の手技を解説する。					
《成績評価の方法と基準》					
本試験 80% 小テスト 20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 生理光学ドリル基礎編 生理光学ドリルⅡ 滋慶教育科学研究所:滋慶出版 国家試験過去問⑧生理光学					
《授業外における学習方法》					
授業の予習、復習 小テストの勉強と見直し					
《履修に当たっての留意点》					
眼科における光学的知識は日常の眼科診療において必要不可欠なものです。基礎からしっかりと学び、理論を理解することで、生理光学実習における実技実習に役立ちます。生理光学と生理光学実習、理論と手技を繋げて学ぶことを期待します。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1 6 回	授業を通じての到達目標	屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。	教科書 配布資料	授業の復習	
	各コマにおける授業予定	レンズ交換法、視力の表記			
第1 7 回	授業を通じての到達目標	屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。(乱視表)	教科書 配布資料	授業の復習	
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(乱視表)			
第1 8 回	授業を通じての到達目標	屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。(乱視表)	教科書 配布資料	授業の復習	
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(乱視表)			
第1 9 回	授業を通じての到達目標	屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。(クロスシリンダー)	教科書 配布資料	授業の復習	
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(クロスシリンダー)			
第2 0 回	授業を通じての到達目標	屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。(クロスシリンダー)	教科書 配布資料	授業の復習	
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(クロスシリンダー)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	検影法の理論が理解できる。検査結果をレンズ式にできる。	教科書 配布資料	授業の復習
	各コマにおける授業予定	検影法の原理と検査方法		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	眼鏡の基礎的な構造が理解できる	配布資料	教科書の該当ページを 読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	眼鏡の基礎知識		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	眼鏡の基礎的な構造が理解できる	配布資料	教科書の該当ページを 読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	眼鏡の基礎知識		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 3 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			